

令和 5年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 秀峰会	代表者	櫻井 大	法人・事業所の 特徴	在宅サービスに位置づけられた「通い・訪問・宿泊」を、職員が一貫して行える小規模多機能型サービスであり、ご利用者が在宅生活を続けられるよう、ご自身の残存機能を継続して行える事に留意した対応を心掛けております。
事業所名 (都築区)	小規模多機能型居宅介護 すいせん	管理者	森本 達也		

出席者数	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・ 地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援 センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人		1人		連絡済だが参加不可の 連絡あり不参加。		連絡済だが参加不可の 連絡あり不参加。	1人		3人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価改善点で出来ていない、理解されていない点を重点的に絞って研修やミーティングで伝えていく	自己評価は行えたものの、自己評価を基に、サービス向上に向けて自己評価内容に対し職員一丸で検討、取り組む仕組みの構築がなされていなかった。	・スタッフも自己評価を不明確に行っている印象。行う理由を具体化した方が良い。 ・地域との関りの課題は、地域、事業所ともに取り組むできと考える。 ・情報共有にも課題を感じている印象。	・運営推進会議の仕組みを活用する為、毎月のMTで自己評価を取り組んでいく。 ・アセスメントシートを改良し、情報はそちらに集約する。
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所内の環境と外観の整備は継続して定期的に確認して環境整備していく	外観に関しましては、花壇にその季節ごとの花を植え。立ち寄ってごらんになってくださる方も多く見られております。内装と致しましては、施工より経年あり、不具合が生じた際は早急に修繕している所でございます。	・表も明るい雰囲気、内空間も居心地の悪さは感じられない。 ・特段に問題は感じられな様子。	・今後も継続して、内外観の環境整備を定期的に確認していく。
C. 事業所と地域のかかわり	コロナの状況次第であるが参加可能な行事や催し物があれば参加していく。地域との集まりには	管理者としましては、近隣ケアプラザに出向き、自治会や近隣住民の方向けの活動に参加させて頂きました。ご利用者、職員に関しましては、地域のお祭り等に参加させて頂き、ボランティアの方々もお招き致しました。	・近隣のケアプラザ、民生委員からの相談も受けている。 ・ケアプラザ主催の活動にも参加できている。	・引き続き、地域の活動に関しては積極的に参加していく。 (近隣ケアプラザ活動、近隣フェスティバルの参加とご利用者の案内)
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	継続して民生委員や包括所職員さんと連携して可能な地域への関わりをしていく	ご利用者に対し、近隣のコンビニエンスストアでの買い物や、演奏会へのご案内、レストラン等の飲食店へのご案内を進んで行って参りました。	近隣コンビニや商店にご利用者を案内出来ている。 ・近隣住民の方の会議参加を積極的に促して行けるとよい。	・継続して、近隣のインフォーマル資源の活用を計画し、ご利用者の精神面の活性化を図る。
E. 運営推進会議を活かした取組み	継続してご利用者様の利用状況を中心に情報共有し、地域から信頼されるような施設運営をしていく。	事業所の近況の報告に留まってしまい、自己評価から見えてきた課題を、運営推進会議参加者の方々にお聞き頂く事が出来なかった。	・今後は、事業所のご利用者の課題等を会議内などで共有し事例検討のような事を行ってみたいかどうか。	・近隣住民代表の方を会に招く事と、事業所のミーティングにおいて課題として出たご利用者に関する内容を運営推進会議で共有していく。
F. 事業所の防災・災害対策	地域の防災訓練に参加する。11月の夜間想定避難訓練で消防署と消防団に指導してもらい、運営推進委員に参加してもらう。	事業所内におきましては、夜間想定や、消火及び通報についての研修をさせて頂きましたが、近隣の方及び消防の方々にご参加頂く形には至りませんでした。	・地域も今までコロナで行えていない状況。 ・事業所の災害時業務継続計画が未周知である。	・まずは、事業所の災害時業務継続計画の共有を行う。 ・地域と相互に訓練を計画していく。